

田辺冽山<尺八> 東西古楽を探る

西の古楽「バロック」を、
東の古楽器「和楽器」で演奏、
それは「100年後の古楽」と
なるのだろうか…

「音のかけら」 音の記憶



《プログラム》

プロローグ:「本手調子」京都明暗流古典本曲

第一部:尺八独奏による

「雲井調」山本邦山作曲

「Ogud all sannings kalla / Avresan」(北歐古典民謡)

「江差追分」田辺冽山編曲

第二部:和楽器による

バレストリーナ対位法による変容「鶴の巢籠」高橋久美子編曲・新作初演

「マタイ受難曲No.39」愛澤伯友編曲・新作初演

「流れよ、わが涙」ダウンロード作曲・高橋久美子編曲・新作初演

※都合によりプログラムを変更することがありますので、ご容赦ください。

【出演】田辺冽山<尺八>

【賛助出演】高峯香風<筑前琵琶>/田村法子<十七絃箏>

田辺頌山<尺八>/桜井智永<箏>

【作編曲】愛澤伯友/高橋久美子

【舞台美術】3PC=多田浩二・吉田猛信

【演出】堤祥一郎

2007
11/9

北とびあ・つつじホール

東京都北区王子1-11-1 / TEL:03-5390-1102

【FRI】

開場PM6:30 / 開演PM7:00

※9/10(月)前売発売

入場料・前売券¥3,500 / 当日券¥4,000 / 学生券¥2,000(全席自由)

主催:和楽◆工房 [田辺冽山]

共催:(財)北区文化振興財団 / 北区

企画構成:和楽◆工房 [田辺冽山] / 高橋久美子 [パシフィック・スタジオ]

問い合わせ:和楽◆工房 [田辺冽山] TEL/FAX 049-234-5808 E-mail retsu@bd.mbn.or.jp

チケットお取扱い:北とびあ1階チケット売場(窓口のみ 10:00~19:00) / 和楽◆工房 [田辺冽山] TEL/FAX 049-234-5808

※未就学児のご入場はお断りいたしております。 ※車椅子席をご希望の方は、発売日より(財)北区文化振興財団(TEL:03-5390-1221)にてご予約ください。



「音のかけら～音の記憶」について

「バロック音楽」と「和楽器の音楽」この両極端と思える東西の「古楽」には意外な程に多くの共通点が存在すると捉えています。

それは「ヴィヴァルディ」や「バッハ」と箏曲で有名な「八橋橋校」や尺八の「黒沢琴古」などの発達時期、また西洋でバロック時代が古典派へと変わった時代と日本では明治時代に入り西洋文化が流入し山田耕作や宮城道雄などにより音楽様式が大きく変化したのが、それぞれに同時代であることなどです。（このときから日本と西洋の2つの音楽文化が交差し合流していきます。）

そして管楽器と弦楽器との組み合わせをアンサンブルの基本単位とするのは、どの音楽文化でも変わりません。箏は楽器法の区分では「チター族」に属し西洋ではピアノへと発展していきますし、バロックフルートと尺八の最低音Dはなぜか共通しています。

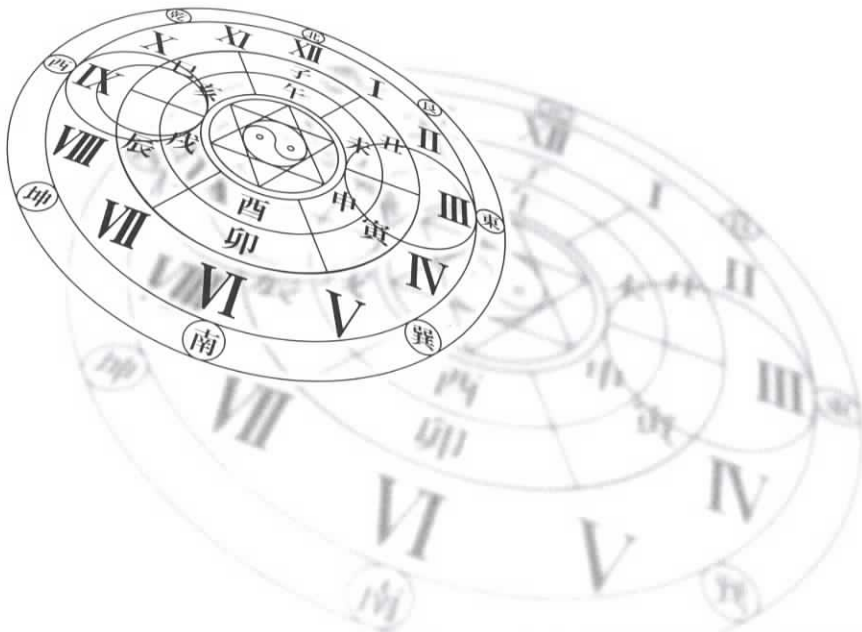
印象派の大家クロード・ドビュッシーは、パリ万国博覧会で和楽器の演奏を聴き触発され、「フルート、ハーブ、ヴィオラのためのソナタ」を作曲しました。これは三曲合奏「尺八・箏・三味線」を模倣的に西洋楽器で作上げたものです。西洋文化からの影響だけでなく、和楽器は西洋の耳に「浮世絵」のような影響を与えてもいます。

このような共通点からも、西の古楽を東の古楽器で演奏する事により、人としての感覚の原点を見直した上で音の起源の「伝説」をひもとき、新たな「100年後の古楽＝伝統」となる事をめざしたいと考えました。



田辺 洌山 [尺八] Retsuzan Tanabe

1955年岡山生まれ。父、恵山より手ほどきを受ける。1975年 山本邦山(人間国宝)に師事/1980年 中央大学文学部哲学科卒業、NHK邦楽技能者育成会25期卒業/1981年 都山流師範となり、山本邦山のアシスタントを経てプロ活動開始/1985年 NHK邦楽オーディション合格/1992年 日本の伝統色を音で表現する「色彩の間」企画・発表(現在までに12回)/1993年 田辺洌山尺八の会「風姿有韻」秩父34観音礼所・尺八巡礼の旅を開始(全34回終了)/1996年 川越・田中屋美術館においてシリーズコンサート「小江戸・日本の音遊び…」開始(全9回終了)、邦楽ジャーナル誌に「田辺洌山の尺八教室」執筆(全12回終了)、柴崎勉氏(WSG代表)との共同企画「水の音原風景」開催(現在までに31公演)/1997年 1stアルバム「水の音原風景」(WSG)リリース/1999年 銀座かねまつホールにて「銀座・日本の音遊び…」を開催(全9回終了)/2000年 草月プラザ・イサムノグチ彫刻庭園「天国」にて「森の音、水の響き」企画・出演、同名の2ndアルバムリリース、箏・尺八ふたたり「閑花風」開催(現在までに12回)/2001年 「尺八の調べ」(NRC/CD6枚組)リリース、「水の音原風景」南米コンサートツアー(4カ国公演)/2002年 嶋津健一[芦]・加藤信一[bass]と共にユニット「S.Triangle」結成(現在までに19公演)/2003年 出身地岡山で「晴れの国・日本の音遊び…」開催(現在までに5公演)/2005年 3月「水の音原風景」韓国ソウル公演、4月李生剛(韓国重要無形文化財保有者)60周年リサイタル(ソウル SEJONGCENTER)に招聘され出演/2007年 メリランド州立大学開催の第6回国際日本音楽学会フェスティバルに招聘され出演(UMBCポルティモア・フシントンDC)/ヨーロッパ・北米・南米などの海外公演やアルバム参加・放送・録音も多く、また「色彩の間」音のささやき、言葉のひびき「日本の音遊び」・「風姿有韻」・「ing」水の音原風景「間が動く…」など企画制作も含むプロデュース公演も多い/現在、都山流尺八楽会大師範、日本三曲協会・山本邦山尺八合奏団所属、東京を中心に活動を続けている。



PROFILE



高峯 香風 [筑前琵琶] Kafu Takamine

幼少よりクラシックピアノに親しみ、後にジャズ、ソウルに傾倒。跡見学園女子短期大学生活芸術科に在学中、日本音楽と出会う。山田流學曲の人間国宝、東京芸術大学名誉教授中尾高敏への門下となる。卒業後、清国神社音楽、跡見学園短期大学生活芸術科研究助手を経て、日本音楽集団第10期研究団員となり、現代三味線者、西島昭子に師事す。山田流學曲三味線教授となり、国立劇場にて名優富田、以時、様々な邦楽に触れる中「語り部」に日本音楽の真髄を感じ、女流義太夫の竹本駒之助(人間国宝)に入門。竹本駒之助の名を賜り上野木牧亭にて義太夫師の太夫を勤める。1989年(平成元年)結婚により芸を中断。一年後、夫の勧めにより、筑前琵琶弾き語り師 長谷川 義太夫の人間国宝、山崎想泉の薫陶を受ける。1997年 琵琶楽会にてNHK邦楽オーディション合格/1999年 筑前琵琶、日本橋会全国演奏会優勝、審査員特別賞を受賞。2001年 第38回日本琵琶コンクール第1位優勝、文部科学大臣奨励賞、NHK会長賞、山崎想泉賞、鶴田謙史賞、日本琵琶楽協会会長(金田一春彦)賞等を受賞。同年筑前琵琶日本橋会師範となり、宗家より雅号「法妙院矢澤旭弘」を賜る。2004年 ホームヘルパー2級取得。子供のための音楽療法に取り組み。2006年「たあそびプロジェクト」をきっかけに、高峯香風として、シャンソングジャズ、ダンスパフォーマンスなど様々なジャンルでの コラボレーションを創作。同年 フォーマルハウト株式会社設立。音楽+IT関連事業を展開、明鏡楽器、渡辺謙氏と提携して、新作琵琶「明鏡琵琶」を作成。2007年 国立音楽院にて「明鏡琵琶」琵琶製作愛好会を立ち上げ、NHK、民放はじめ、国立劇場、ライブハウスに出演。現在に至る。



田辺 頌山 [尺八] Syozan Tanabe

岡山生まれ。小学生の頃より父、恵山に手ほどきを受ける。早稲田大学に入学。山本邦山(人間国宝)の演奏を聞き、その音色にゾクッと受け入り。NHK邦楽技能者育成会を卒業し、NHKオーディションに合格。都山流尺八楽会師範、師範試験に首席第1。大学卒業後プロとして活動開始。国際交流基金の助成や政府招待などにより、ローマ・ローマ・ローマ「ヨハネ・バウロ」に観望演奏、カーネギーホール公演をはじめ海外での演奏も多く、様々なジャンルの国内、海外の演奏家と共演し好評を得ている。自己の尺八を追求すべく「田辺洌山尺八楽会」を設立。海外の演奏家と共演し好評を得ている。ステージ、レコーディング、指導活動に力を入れる。尺八本来の持ち味を大切に、ジャンルにとらわれない幅広い活動を行っている。都山流尺八楽会大師範。'93長谷川義太夫記念第1回全国邦楽コンクールで最優秀賞を受賞。'98 CD「静かなる時」(KYOTO RECORDS)リリース。
(http://www.shozan.net/)



田村 法子 [箏・十七絃] Noriko Tamura

1979年より母・田村雅幸(人間国宝)に手ほどきを受ける。1989年 正派邦楽会准師範第1期。1994年 正派音楽院本科卒業。総裁賞受賞。1995年正派音楽院研究科修了。NHK邦楽技能者育成会准師範修了。山古に母シロコ・イタル開催。1998年 日本音楽集団入団4回の定期・海外公演・協力公演・放送、CD「響音」などの活動に参加。吉村七重子プロデュース「邦楽展」に参加出演。新進作曲家との共同作業による新作公演への演奏活動を行う。1999年NHK邦楽オーディション合格/2003年 エニョカール・ベッケンバウムとの演奏活動を行う。2004年 第1回同慶記念全国邦楽コンクールにて第1位賞獲得を受賞。2005年 仙台にて「第2回田村雅幸賞」田村法子シロコ・イタル対イタル開催。NHK邦楽花舞台に出演。十七絃「竹」(タケノコ)を演奏。宮本幸三師、吉村七重子師に師事。生田流正派邦楽会師範、正派合奏団・制楽会に所属。日本音楽集団団員、昭和音楽大学非常勤講師。現在、箏・三味線の古典現代化作品まで、舞台・放送・録音などに幅広く演奏活動を行っている。



桜井 智永 [箏] Chie Sakurai

長野県出身。幼少のころより母・田村雅幸(人間国宝)に師事。1977年 木村均子師に師事。1980年 生田流學曲正派師範試験に首席第1。1984年 正派音楽院音楽科卒業。正派師範となる。1985年 NHK邦楽技能者育成会30期卒業。日本音楽集団に入団。1986年 NHK邦楽オーディション合格。1990年「日本のたけ」(大日本製菓会)CD「響音」CDにコーデュック参加。1991年 日本音楽集団団員として第一回日本音楽賞を受賞。1992年由崎の助スーパースター賞「響音」CDにコーデュック参加。1996年 日本音楽集団第22次海外公演(韓国)に参加。1997年 「水の音原風景」田辺洌山(山本邦山)CDにコーデュック参加。1999年 箏・尺八ふたたり「閑花風」に参加(現在までに10回)。2000年 森の音、水の響き「田辺洌山」(WaterNet Sound)CD「神の風音」川崎倫太郎作品集「Bambos」CDにコーデュック参加。NHK邦楽音響オーケストラ音楽会収録。2001年 日本音楽集団第25次海外公演「響音」CDにコーデュック参加。2005年 3月「水の音原風景」韓国ソウル公演参加。生田流正派大師範。日本音楽集団団員、みどり文化センター講師。現在東京を中心に活動を行っている。



愛澤 伯友 [作・編曲] Shiroto Aizawa

1962年東京生まれ。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業、同校大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了(首席)。学費全額免除/安宅賞受賞。幼少より箏曲を安藤正輝氏に、大学時代には雅楽を笠法清氏に学び、洋楽の作曲だけでなく、邦楽や民楽を多用した作品にも使命感を持つ。作曲においては、明田村氏、三浦英、嶋崎一、長岡謙の諸氏に師事。また、日本人作曲家としてヨーロッパにおいて最優秀な録音賞に4回受賞を受ける。「ピエタ」(植田由己)、丸山修司、岡野孝子等に師事。招聘においてはフランス・スウェーデン、イタリアに師事。また、東京芸術大学にて、依藤友和、松尾幸子に師事。また、小澤征爾指揮法学院的の講座講師。バロック音楽週間「指揮」参加。ウイーン夏期講習会「指揮」デュッセルドルフ・ロマンツァー受賞。第2回国立劇場作曲コンクール「藤芳田」佳作。現在、デジタルハリウッド大学准教授、高美学園大学・学科共済非常勤講師、名古屋学芸大学 映像メディア学科非常勤講師、UMBC大学特別講師、14か、日本作曲家協議会会員、ADPA会員。



高橋 久美子 [作・編曲] Kumiko Takahashi

武蔵野音楽大学音楽教育学科卒業。クラシック・邦楽・舞台・映像音楽等、ジャンルを超えた作曲活動(国内)外で行っている。作曲者田辺洌山氏に師事。日本映画振興協会(国際交流日本映画協会)会員。
(http://www.geocities.jp/kittj/)